

京都労山

2024年12月号

No. 378

発行日

2024年11月18日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>

【Eメールアドレス】 kyoto-waf@dab.hi-ho.ne.jp



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

12月号目次

- * 六つの合い言葉・目次
- * ステップアップ・ 機関誌委員会 01
- * 事務局長会議報告 02
- * 八丁平視察報告 03
- * 冬山連絡会の案内 05
- * 公開ハイク「金勝アルプス」の報告 06
- * 公開ハイク「東山トレイル」の報告 08
- * クライミング委員会山行報告 10
- * 大文字山登山道整備の報告 12
- * 能登半島地震被災者支援活動報告 13
- * 京都労山60周年記念事業第1回実行委員会まとめ 17
- * 滋賀県連ファーストエイド講習会に参加して 18
- * 連載企画・日本二百名山登頂・第45回荒沢岳 20
- * 12月号の案内 21
- * 連盟月間予定表「カレンダー」 裏表紙

ステップアップ

機関誌発行

高野 寛

機関誌委員会では機関誌「京都労山」を毎月1回発行しています。連盟役員と市内の各会へは1～10部程度を配布。北部・南部の会や近畿はじめいくつかの地方の労山や全国、京都新聞などのマスコミへの発送とホームページへの掲載、そして希望のあった各会へPDF版での配布を行っています。

10月から郵便料金が値上げになりました。

物価高騰の折り、印刷・発送などに経費がかさみ、予算を圧迫します。

活字離れが言われる昨今ですが、スマホやパソコン画面では表示される字数も少なく全体を把握するには限りがあると思います。

会員の中には、やはり印刷した文章を読むことになじんでいる方も多と思います。

「京都労山」の配布をPDF版にするにしても、印刷を完全にやめてしまうことは難しいと思います。

機関誌委員会では現在、他部門からの援助も得て5名で印刷・折り込み作業をやっていきます。

郵便局の受付も午後7時で終了となってしまった現在、スピード感が求められています。

2年後には京都労山も創立60周年を迎えます。

諸先輩方が努力されて今日まで京都労山と機関誌の発行も続いてきました。

機関誌を取り巻く状況が変化し、編集体制や印刷方法など転機を迎えつつあります。

経験豊かな会員の知恵と力に依拠し、若い会員の発想力に期待して発行に努力していきたいと思っています。

事務局長会議報告 (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

11月度会議：WEB会議 西山,やましな,乙訓,右京,伏見,明峯,山城,洛中,左京
9 労山参加、連盟から 2 人参加。

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

- ・[右京]<例会>0/3～7 栗駒～蔵王 14 人,14 公開ハイク③京都トレイル(蹴上～稲荷山) 12 人,20 バスハイク御在所岳 19 人<予定>11/4 権現～蓬莱山,17 赤坂山～寒風,23 アイゼントレ白坂<その他>10/27 読図公開天王山ウォークラリー15 人
- ・[やましな]<例会>10/9～14 栗駒山・月山 10 人,26～27 荒島岳テント 3 人<予定>11 月 9～10 公開バスハイク(入笠山)32 人予定,24 養老山<その他>10/27 第 1 回 40 周年実行委員会、毎月の大文字例会を会員に拡げていく。
- ・[西山]<例会>10/6 第 5 回中級教室実技②19 人,13 公開バスハイク天橋立トレイル 18 人(会員外 8),27 集中登山若山神社 6 コース 80 人<予定>11/20 ポンポン山トレ, 25 ダイトレ②岩橋山<その他>11/23 第 39 回総会 再来年 40 周年にむけて
- ・[左京]<例会>10/19～20 秋のキャンプ奈良洞川 6 人<予定>11/23 峰床山<その他>10/30 ミーティング『登山と身体の科学』山本正嘉先生に学ぶ 11 人
- ・[乙訓]<例会>10/10～14 以東岳～大朝日 4 人,19～20 瑞牆山～金峰山 4 人,27 初級向けクライミング金比羅 13 人<予定>11/4 横山岳,10 高島トレイル,27 三笠山
- ・[伏見]<例会>10/4～7 岩手山・早池峰 4 人,26 宇治源氏ゆかりの道 4 人<予定>11/17 公開ハイク「読図」音羽山,23 伏見遭難対策・搬出訓練<その他>女性部「おしゃべりカフェ」27 名集まる、全国基金 WEB 説明会に 2 人参加
- ・[洛中]<例会>10/11～13 西穂高岳 2 人,18～19 越前大日岳と赤兎,大長山 4 人<予定>11/9～10 交流会 18 名参加予定<その他>60 周年実行委員会,来年プレ企画有、ヒヤリハット雲の平山小屋でクマスプレーを誤噴射する。
- ・[明峯]<例会>10/6 京都トレイル第 2 弾⑧高尾～二ノ瀬 10 人<予定>11/23 阿武山,30 アイゼントレ白坂<その他>つどい「生活に役立つロープワーク」

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ・京都労山 60 周年記念事業。実行委員募集各会より 1 名以上。若い人に焦点を当てて次の世代に引き継ぐ。第 1 回実行委員会 10 月 29 日(火)PM 7 時半～9 時 18 名参加。実行委員は 10 会で決定済。次回 12 月中旬までに各会会員よりプランを集める。
- ・2025 労山カレンダー。全国連盟に各会より直接注文。700 円×注文部数+500 円(送料)を 12 月上旬目途に京都労山口座へ振り込む。
- ・11 月 16 日、17 日常任理事会・救助隊合同遭難捜索訓練を実施する。

次回 12 月 3 日(火)の事務局長会議は、PM7:30 より WEB 専用会議とする。

自然保護委員会コーナー

林道建設から守られた八丁平の豊かな自然を次世代に引き継ごう！

八丁平視察報告

日 時：2024年10月31日(木) 8：40～14：10 曇り時々晴れ

参加者：3名（やましな2、田辺1）

平尾 繁和

自然保護委員会では、2009年以降毎年八丁平を訪れ、今回15回目の視察となった。昨年に引き続き、二の谷市有林管理舎からスタートし、フノ坂峠から八丁平に入った。気候変動の影響による異常な夏日の連続の影響かブナやカエデは紅葉していなかったし、マユミやサワフタギの実は見られなかった。目に付いたのはオオバアサガラとイワヒメワラビの繁茂。クラガリ谷に入るとシカの糞が目立ち、道はイワヒメワラビに覆われ不明瞭な部分もあった。峰床山の山頂部は広く開け展望はよくなったが、南稜線部は土が剥き出しで下草が見られなかった。伊吹山のシカの食害による崩壊を思い出した。旧スキー場のササ枯れ跡のネットの中ではススキや低木が育っていた。湿地を一周し、林道がストップした所を確認し、ヘリコプター基地下の道から戻った。防鹿柵のなかではチマキザサが昨年より大きくなり広がっていた。シカ対策と今後の気候変動の影響が気になった。八丁平の東西で継続している放射線測定を行った。(単位 mSv) 測定値の平均：西 0.071 (㊸0.066)、東 0.033 (㊸0.037)

感 想

臼井 知子

自然保護委員会での八丁平は3回目です。前回と半月ぐらいの違いですが木の葉はまだ残っていて紅葉もほとんどせずこれから紅葉するのか、それとも落葉して冬に向かうのか判然としません。鳥の声も耳が悪いせいあまりきこえず静かでした。全体に年とった木が多く寂しい雰囲気でした。防護柵の中の笹や雑木は育っていてそれはホッとしました。なんとか増えてくれると嬉しいです。

射場寿美子

歩き始めてすぐ、白色のスギヒラタケが薄暗い森を明るくしています。食べ頃なのにどうして誰も食べないのでしょうか?? 峰床山から下山してきた2人の男性は、他府県の人で50年ぶりの八丁平だと話しておられました。「50年ぶりの感想は?」と聞くと「人が少ないですね」。そういえば、以前は笹原があり、ドングリの木は沢山の実をつけていました。多くの人が集まっていました。鹿の食害を防ぐために作られた囲いができてから5～6年。自然保護委員会は、毎年秋に八丁平の観察をしています。今年は、一層笹の量も増え、小川には魚も泳ぎ、鮮やかな赤色の八丁トンボも見られ、少しずつ回復しているのを実感します。「見晴らしがよいですよ・・・」と2人の男性が言っていた峰床山は遠くは白山、眼前は比良山。比叡山と愛宕山を視ることができ、今日の観察会はいつにも増して充実していました。



クラガリ谷



峰床山南稜線のブナ



峰床山 山頂



旧スキー場付近



柵の外はイワヒメワラビ



柵内でササが生育



林道がストップした地点で



キララタケ



コゲラ



ハッチョウトンボ

八丁平は、3 万年前の最終氷期に形成された近畿で数少ない高層湿原で、150 種の植物が確認されている※1。1960 年代終わりから大原尾越から八丁平を通り久多に至る林道工事による破壊の危機に見舞われた。「八丁平を林道建設から守る会」等とともに、京都労山は八丁平を守る活動を始めた。意見書の提出など運動を盛り上げ粘り強い活動が継続された結果、八丁平のすぐ手前で工事をストップさせ、林道は八丁平の集水域を迂回するコースに変更され、湿原の自然は守られた。その後ナラ枯れや、シカによる食害が目立ち始め、2004 年頃チマキザサの一斉開花・枯死のあと、シカが種子から発芽した新芽や地下茎を食べてしまいササは消滅し、シカの食べないイワヒメワラビやオオバアサガラが繁茂する光景に変わった。現在防護柵で囲いササの復元が試みられている。2017 年 3 月京都丹波高原国定公園が指定されると、八丁平は「現在の景観を極力維持する必要がある地域」である「第一種特別地域」となった。 ※1「八丁平の自然」(京都市経済局農林部林業振興課)

冬山リスクマネジメント講習 & 冬山連絡会のご案内

担当：遭難対策部

冬山に興味があるけど、どうしたらいいのかわからない、低体温症や滑落、雪崩も心配など冬山はハードルが高いように感じられるかもしれません。冬山をはじめてみたい方やはじめての方を対象にした入門勉強会「冬山リスクマネジメント講習」を行います。冬山に興味のある方は奮ってご参加ください。

1部は例年行なっている「冬山連絡会」です。冬山山行を計画されている方は、ぜひご参加いただき、冬山山行について意見を交わし、交流を深めましょう。

山行計画のある方は山行計画書を下記申込先に送付ください。詳細が決まっていない場合は、簡単なものでかまいません。計画のない方も奮ってご参加ください。

2部は「冬山リスクマネジメント講習」です。

1部のみ、2部のみ参加もOKです。

いずれもWeb(Webex Meet)で行います。事前に資料をメール等で送付しますので、印刷等して準備してください。

日時 2024年12月6日(金)

1部 冬山連絡会 19:00~20:00

2部 冬山リスクマネジメント講習 20:00~21:00

申込 11月29日(金)までに、遭難対策部 川端純子(丹後山の会)宛に
メール asytj.jun@yahoo.co.jp で申込みして下さい。

1部のみ、2部のみ単発参加の方は申込時にその旨をお申し出ください。



金勝アルプス公開ハイク 山行報告

山行日 : 9月29日(日) くもり 報告 近藤
受講生 : 9名(女性8名、男性1名)
スタッフ: CL 近藤(右京) SL 奥田(らくなん) 田中(伏見)
井上(伏見) 平岡(山城) 坪(山城)

☆コース

上桐生登山口スタート 9:15~落ヶ滝 9:55~天狗岩 11:55 着(天狗岩登頂・昼食休憩) 12:55 発~白石峰 13:20~狛坂摩崖仏 13:55~
~逆さ観音 15:00~上桐生登山口 15:20 着(解散式)

9月最後の日曜日、酷暑からようやく気温が下がりホッとしていたのですが朝方の雨で湿度が高く登り始めると汗が流れます。川沿いのシダに囲まれた登山道を30分ほど登り落ヶ滝分岐に到着。そこから落ヶ滝までの往復道は根っこだらけで気を使います。5分程で落ヶ滝に到着。水量は少なめです



が落差30mの滝は見ごたえがあります。今年は雨のあとですべるので岩場には登らず手前で記念撮影をしました。日曜日なので次々に登山者が登って来られ、早々に分岐に戻り始めましたが、狭くて根っこの道での離合に時間がかかりました。分岐からは尾根に出るまでは川沿いの岩場が続きます。急斜面の岩

場にはロープが設置されているので助かりましたが、初めての受講生の方には緊張しながらで、姿勢のことやロープに頼り過ぎずに足元確り確保などのアドバイスをスタッフがしっかりして、無事通過しました。

尾根道はザレ場では歩きにくい箇所もありましたが、気持のよい風も吹いて大岩が重なる奇岩や天狗岩も見えてきたので楽しんでおられました。





途中アクシデントがありましたが、天狗岩には12時到着。荷物をデポして天狗岩山頂を目指しました。急斜面の岩のロープを頼りに登りますが、本命の天狗岩は自力です。足場が少ないので三点支持をしっかりと伝え、緊張しながら支持をしっかりとって山頂に到着。360度遮るもの

がない天狗岩山頂からの展望は、琵琶湖や比叡山、眼下に広がる田畑や三上山のシルエットが見事で皆さん感激されていました。

昼食後、耳岩、白石峰へ向かう途中、大勢の人が登っている天狗岩が見え「あんな大きな岩の上に私らも登ってきたのやね、すごー」と改めて喜んでおられました。

白石峰分岐からの粕坂摩崖仏までの下りは足場の悪いところもありましたが、林道出会いには一時間ほどで到着、その後は緩やかな道を下り逆さ観音、オランダ堰堤を経て上桐生のスタート地点に15時20分到着。解散式を行いました。



参加者の感想アンケートには「岩や根っこがきつい所もありましたが天狗岩からの景色は最高でした」「変化のあるコースで岩登りのなところも楽しかったです」「しっかりアドバイスもして頂いて感謝です」「皆様の笑顔と掛け声で楽しく歩けました」など嬉しい感想を寄せて頂きました。

2024年度 京都府勤労者山岳連盟ハイキング委員会

第5回公開ハイキング 京都トレイル（I）

山行日 ; 2024年10月20日（日）

天候 : 晴れ

参加者 : 受講生 11名（女性10名、男性1名）

スタッフ : CL上見（洛中）、SL山下（西山）、井上（伏見）、奥田（らくなん） 計4名



コース

JR 稲荷駅スタート 9:00⇒稲荷山一之峰⇒稲荷山四辻⇒泉涌寺⇒清水寺山頂⇒
將軍塚⇒粟田口 解散 14:00

天気予報では前日から気温が下がり寒くなるとの予報でしたが、秋晴れで汗が出る山行でした。稲荷境内は海外からの観光客で早朝にもかかわらず大混雑で、千本鳥居の大渋滞を横目に見ながら深草トレイルに向かう。深草からのルートは人も少なく
秋海棠（シュウカイドウ）の花を見ながら急登を歩き、稲荷山一之峰に出て四辻へと下り京都トレイルのコースに入った。

参加者の皆さんは急登を登ってきた後も足取りは軽く、泉涌寺前から清水山へと足を

進めた。



秋海棠



清水山山頂で昼食のため休憩の後、将軍塚へと向かう。

将軍塚の展望台で集合写真を撮り参加者に今回の感想を記入してもらった後、栗田口へと向かい栗田神社入口で解散する。

- ・ヒヤリハットは無し
- ・行動距離：約 11 km
- ・行動時間：約 5 時間

参加者の主な感想

*伏見稲荷～栗田神社 通して歩くのは初めてでしたが歩きごたえがありました。

*稲荷山のコースは、初めてのコースでいろんな行き方があるのだと感激でした。

*千本鳥居の混雑を避けたルートでありがたかった。

要望：雨天中止が 1 回でも予備の山行実施をお願いしたい

→ハイキング委員会では、従来より雨天中止が 2 回以上の場合のみ予備として 1 回追加山行を実施しています。

クライミング委員会山行 報告

クライミング 《安曇川ボルダー》

日:10月12(土) 晴れ

メンバー:内野(洛中)、岩根(左京)、林(らくなん)、河合、青山大(やましな)

安曇川のボルダーに行ってきました。転がっている程よい石を探しては、各々課題を設定して、のんびり・ガッツリ、ボルダリングを楽しみました。



クライミング 《北部クライミング交流会 ～山家 立岩～》

日:10月27(日) 晴れ／曇り

参加者:川端(丹後)、坪田(洛中)、佐藤(やましな)

委員:内野(洛中)、岩根(左京)、河合(やましな)、小泉(田辺)、青山大(やましな)

クライミング交流会を、綾部の「山家 立岩」で実施しました。京都縦貫が伸び、京都市内からのアクセスも遠くなくアプローチは10分位、岩の周りは平らで広く、滅多にクライマーも訪れない静かな岩場、と言った部分では北部交流会の場所としては最適でした。

案内通りの時間にみんな集合して、自己紹介もそこそこに岩場へ。グルッと岩を見て回って、自然に戻っていない中では一番易しいルートから登る。もう一本、出だし核心で頑張った後は快適に登れるルートにもロープを。

みんなで順番に、和気藹藹とクライミングを楽しみました。



～感想～

はじめはなかなか登れず、無理かなと思っていましたが、アドバイスいただき、登ることができました。嬉しかったです。最近、肘痛が再発し、クライミング意欲が少し落ちていましたが、登れると、やっぱり楽しく、怪我に気をつけながら続けていこうと、気持ちが上向きになりました。

終了点の補強や、リード練習用のフィックスの張り方なども拝見し、勉強になりました。また、他会の方々とも交流できて楽しかったです。お世話になり、ありがとうございました。川端

クライミング委員会の交流会に参加させていただきました。

まずは、ビジターの4人はトップロープで10bのルートにチャレンジしました。でもこれが見た目よりかぶっていて、手は疲れ足の置き場も分からず、10bなんてトップロープでも無理ちゃうなんて思いつつ3回チャレンジしました。でも、アドバイスもあり以外とクリアできた時には、びっくりでうれしかったです。次はアブミを使ってクラック沿いのルートにチャレンジ、力が入ってしまい疲れましたが終了点までいけて満足です。

久々の外岩でしたが声をかけあい楽しく登れました。お世話になりありがとうございました。佐藤

初めての山家立岩、初めてのクライミング委員会企画の参加、楽しく一日過ごさせていただきました。私にとっては、「辛めのルート！」簡単には登られてもらえなかったけど、みんなでワイワイ言いながらトライ。4登目にそれなりに納得して完登できたのは嬉しかったです。

青山さんの職人技とも言えるムーブ、支点構築・あぶみのセット等状況に合わせより安全な選択、見ていてとても参考になりました。また是非ご一緒させていただければと思います。ありがとうございました。坪田



京都府連盟～安祥寺上寺跡左俣 登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2024年10月19日（雨）1時間半作業をして終了

やましな：青山郁夫 久子 右京：西村澄子 荒木賢子

山科駅 8:47--9:25 林道入り口 9:36--9:54 登山道整備 11:12--11:45 毘沙門昼食
12:10--山科駅 12:29

今回で左俣は完了するかと思っていたが予想外に早くから雨。谷の中の小枝集めと谷の中に横たわる倒木を1本切って今日の作業は終了しました。残念。

12月はやましな山の会の例会で取り組みます。12月は今回の残りとして左俣の安祥寺上寺跡北ルートの登山道を整備します。これが終わればD尾根の登山道の倒木整備。そしていよいよ、安祥寺上寺跡右股登山道の整備に取り掛かります。まだまだ、登山道整備は続きます。是非、一度参加してみてください。

西村さん

やる気マンマンでしたのに～！🌧️雨かい？

まあそんなもんかも!! 来月又、頑張ります

荒木さん

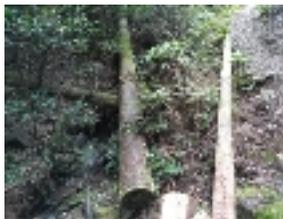
お昼過ぎから雨の予報でしたが、作業場に到着後 大粒の雨が落ちてきて作業は中止で下山。

残念でしたが、来月に持ち越しです。頑張らしましょう

久子さん

予想外の作業開始早々の雨で、なかなか左股が終わりません…

先日能登のボランティアに行った際、山からの土砂が濁流となって河川に溢れ出し、流木も一緒に押し流されていました。市内の至る所に流木の山が見受けられました。私たちのやっている倒木整備もそうですが、改めて治山事業の大切さを痛切に感じました。



谷の中に横たわる倒木



頑張って切る



カニさんが一杯いた

第 20 回, 21 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

今回は労山石川県連の活動と豪雨で甚大な被害を受けた輪島の復興支援に行って来ました。地震で4mも隆起した海岸、倒壊した家屋、豪雨の被害は予想以上に凄かったです。一刻も早く家に帰れるようにお手伝いを続けたいと思います。

第 19 回 活動日：2024 年 10 月 12 日、13 日

やましな：青山郁夫 久子

10/11 京都-のと里山海道 志雄 PA 車中泊

10/12 志雄 PA-道の駅とき海街道-七尾市ゆいベース-被災者宅で活動-七尾市ゆいベース解散-三国山キャンプ場テント泊

10/13 三国山キャンプ場-金沢駅西口-ボラバス-輪島ボラセン-被災者宅で活動-輪島ボラセン-ボラバス-金沢駅西口-自宅（帰着 23 時 30 分 走行 879km）

10 月 12 日活動個所：志賀町地保（前回と同じ）——労山石川県連取組み

参加者：石川県連関係 5 人, 愛知県連 2 人, 京都府連 2 人, トイレン 7 人 計 16 人

活動内容：納屋の裏の排水路確保、崖崩れの土砂土嚢袋入れ搬出、ブルーシートで崖養生——今回で完了

10 月 13 日活動個所：輪島市中心部の鳳至町

参加者：全体で 96 人、私たちの班は 11 人、久々にリーダーをした。

活動内容：床上浸水したおうちの床下の砂出し 5 部屋の内、1 部屋完了、1 部屋半分完了。土嚢 230 袋搬出。継続案件

10 月 12 日 3 回目の労山石川県連の活動。今回は愛知県連からも 2 名参加があった。今回は被災者宅への道路が崖崩れで通行止めとなり 20 分で行ける所を 1 時間 40 分かけて大回りして現地に行った。地保地区の方の生活を思うと一刻も早い道路開通を願ってならない。今回もみんな全身泥だらけになって土砂を掘り出し積み上げ運んだ。崩れた崖をブルーシートで養生したが今後の大雨が心配である。

10 月 13 日 84 歳のおばあちゃんが 1 人で住んでおられる輪島市の床上浸水したおうち。床下に降りてスコップ（関西ではシャベルと言う）で一杯堆積した砂を土嚢袋に詰めて出した。11 人で土嚢袋を 230 袋運んだが半分もできなかった。次のボランティアはいつおばあちゃんのおうちに來れるのだろうか？早く来てあげたい。

家を去る時におばあちゃんが涙声で「私ではとてもできない。ありがとう、ありがとう」とおっしゃった。ボランティアに来て良かったとつくづく思った。

青山久子

石川県のボランティア募集の人数が10月以降増えてきている。10月からは『週末型にする』と言っていたのが、毎日募集がある。1週間に2回『急募』や『募集中』とメールがある。要するに人手が足りないんだ。もっと来て欲しいんだ。早く泥を掻き出してほしいんだ。水害直後の泥は水を含んで重たく、日にちの経った泥は固い。輪島のボラセンでは、『今日は全員水害のボランティアです。泥出しです！』

まだ地震による災害のボランティア依頼も100件以上あるというのに…何とかしたい！



10月12日作業前の打合せ



崩れて来た土砂を運び出し
土袋と土嚢を積み上げた



崖をブルーシートで養生
でも次の大雨が心配

第20回 活動日：2024年10月21日22日

やましな：青山郁夫 久子 青山のお友達 大畑一夫（福知山市）

10月20日 京都--敦賀駅東口大畑と合流--三国山キャンプ場テント泊

10月21日 三国山キャンプ場-金沢駅西口-ボラバス--輪島 VC--被災者宅で活動--金沢駅西口--三国山キャンプ場テント泊

10月22日 三国山キャンプ場-金沢駅西口-ボラバス--輪島 VC--被災者宅で活動--輪島 VC 金沢駅西口-敦賀駅東口大畑と別れる-自宅（0時27分帰着 走行658km）

10月21日活動個所：輪島市門前町深見

参加者：全体で26人、私たちの班は10人

活動内容：床上浸水（55cm）の床下清掃、排水溝土砂出し、集会所の庭の土砂排除

10月22日活動個所：輪島市郊外中段平町

参加者：全体で約70人、私たちの班は8人 久子さんはSLを努める

活動内容：家の裏の側溝の泥の掘り出し、土嚢詰め 4回仮置き場へ搬出 計159袋

10月21日 初めて輪島市の門前に行ったがそれは凄かった。集落近くの道路は山崩れでやっと通れる程。川が氾濫して道路が崩落し家も濁流に飲み込まれて倒壊している。地面は4mも隆起して漁港は干上がっていた。

これからの生活はどうされるのだろうか、何とか家は復旧できても生活の糧である

漁港はいつできるのだろうか、私たちには地区の人たちの生活を立て直すのはとてもできない。私たちは私たちの出来る範囲でほんの少しでもお役に立つことをして行きたい。もう一度大雨が降ったらと思うと心配でならない。

10月22日 輪島市郊外のおうち。今のままでは雨が降ったら床の下に流れ込むのは間違いない。みんなで力を合わせて汗をかきながら山から流れ出した泥を掘り出して運んだ。泥はとても重かった。実に129袋運んだが運び出しきれなかった。もう3回は人出が必要だろう。早く次のボランティアが来れるようになってほしい。

今回、大畑と一緒に行って良かった。良く私の誘いに乗ってくれたと感謝している。また一緒に行きたい。

青山久子

能登は1月の震災に加えて9月の水害で本当に住民の方々の心は折れておられる。私たちがどんな言葉を掛けてあげれば心が休まるのだろうか。言葉が見つからない。私にできることは依頼された住民の方々のしてほしいことを黙々とやるのみ。

門前では土石流が運んできた家や道路、側溝の土を深見川のひび割れた川岸から落とす。石川県連でお世話になっているNPOの方とここでも再会した。

輪島では裏山から流れ出した泥や石をスコップで掻き出し、土嚢袋に入れて運び出し、階段下に降ろしてトラックで運び出す。参加しているメンバーが自ずと自分の役割を見つけ、自分の力量に合った形で泥と向き合っている。

被災された方々もボランティアもみんな頑張っているんだ！



門前深見集落。川が氾濫して道路が崩落。家も濁流に飲み込まれて倒壊している。今後の大雨が心配である。



地面の隆起で漁港は干上がっている。いつ漁ができるのか。



山から流れ込んだ泥の掘り出し搬送。実に129袋の土嚢を運んだ。



輪島VC隣の床上浸水の仮設住宅。今は避難所生活。いつ戻れるのか。

初めての能登半島災害ボランティア活動に参加して 大畑一夫

今まで能登半島の地震および9月発生の水害については、被災された方は大変な目に遭われ現在も御苦労されておられることはテレビ等の報道で分かっていたが、自らボランティアに参加して被災者や被災地の自立、復旧に向けて手助けしようと考えたことはなかった。

今回、元会社の同期であり、また、山登りの友達でもあった青山さんと久しぶりに出会ったときに、能登にボランティアに行かないかと誘われ、軽い気持ちで承知し現地に行くこととなった。

活動1日目は、金沢駅からボラバスに乗り「輪島市たすけあいセンター門前」に向かった。道中、志賀町に入ったあたりから瓦屋根がシートで覆われている家が目立つようになってきた。震災から10ヶ月余りたっても修理したくても修理出来ないのだろうと想像する。また、海岸沿いの車窓からは、海岸のテトラポットや岩が白くなっているものも多く見られ、どこの海岸も波うち際が遠くになっていた。後から聞くと白い箇所は、地震前までは海水に浸かっていたそうである。

門前では、参加者26名の全員が門前深見地区に案内された。この地区は9月の水害で甚大な被害があった地区で、私達の班10名は、午前中は民家の床下に溜まった土砂の除去を行い、午後は公民館の広場に溜まっている土砂の除去を行った。地元の方は、災害以降NPO法人や私達ボランティアが入り復旧に向けて少しずつ進捗していることを目にして、希望を持って私たちに接しておられるのだろうか、なぜか明るく見受けられた。

活動日2日目は、金沢駅から約70名のボランティアがバス2台で「輪島市災害たすけあいセンター」に行った。班分けがあり私達8名は民家の裏山が崩れて側溝に溜まった土砂を土嚢袋に入れ、軽トラで土捨て場まで運搬する作業を行った。狭い箇所ですぐ水分を含んだ粘土質の土砂であったため、掘り起すと重い土嚢の運搬には汗をかいた。今回、土砂の一部しか除去出来なかったが作業終了後には、お住まいのご夫婦に感謝のお礼を言っていた。いただいた。

初めてのボランティア活動であったが、私も少しはお役に立てたのではないかと思います。と気持ちが明るくなった。

このような助け合いの輪が広がっていけば、もっと良い世の中なるのではないかと思います。

<参加者>18名（事務所10名、リモート8名）

内訳：実行委員8名、代理4名、連盟6名

事：岩井（伏見）、高木（右京）、宮内（田辺）、岩根（左京：代）、沖（山城）
中村、坪山、西村、高野、平尾（連盟）

リ：近藤（乙訓）、山本（洛中）、小泉（田辺）、花折（明峯）、吉野（やましな：代）、菊沢（WAO）、
金山誠（福知山：代）、安達（連盟）

実行委員は、10会で決まる 他に、西山（永田、鹿島）、WAO（ ）

<常任理事会からの提起>

- ・60周年の事業の内容を議論したい。
- ・本日は初回の会合、実行委員から60周年に向けて、生の意見を聞きたい。
各会での60周年について意見があれば、披露してもらおう。
- ・あくまで、実行委員の中で方向をまとめて実行していく、常任理事会はフォローをする立場としたい。
- ・仮に、前回50周年事業から3つの事業の柱が考えられる。

- ① 記念山行・事業
- ② 講演会・レセプション
- ③ 記念誌の発行

50～60周年の10年間の記録は必要ではないか

①～③はあくまで基本で、囚われなくてよい

- ・もっとこんなことがしたい等の意見があれば、だしてほしい。
例えば、会員向けだけではなく、地域に向かって活動をアピールする、若年層に対しての登山教室を開催すること等

<意見交流>

- ・登山道具のバザー大会
ブースを設け、テーピング講習会、ファーストエイド、テントの張り方等
一般にも公開し労山を広められる機会にもなる
- ・記念冊子、各会が行った日本の山で良かった山を紹介してもらおう
- ・海外登山は長期になるので若い人は参加しにくい。若い人も参加できる記念山行を考える。
例えば、アルプス（北・中央・南）集中登山
- ・次の5年間、10年間で連盟としてどこまでやるかという目標があってもよい
例えば、登山道整備を全体でやり遂げる、プラゴミ対策（日本海?）「山も海もきれいに」
等、労山がやっとなら社会から注目される事業を考える
- ・会の周年事業の実行委員が集まらず、分担すると少人数に負担が大きく、レセプションはやめることにした。山に来れなくなった人、長時間は歩けない人、低山しか行けない人が多くなってきている。
- ・北部の会と南部の会の温度差がある。委員会への他の会の参加がない。ギャップが心配。
- ・実行委員会の進め方、体制はどうするのか各パートに別れてやっていかないとすすまない。
- ・常任理事会からパイプ役として参加するが、次回以降事業の柱が決まれば全体（実行委員長）、各セクションのリーダーを決めて進める。
- ・各委員が会へ持ちかえり、次回までに会・会員の60周年にあたりやりたいこと・要望などを聞いてくる
- ・次回、12月中下旬

※参考 50周年事業

記念山行 50周年記念ネパール・シクナゲトレッキング（2016.4.3～16）

蓬萊山（比良山系 2016.9.11）

講演会「山岳事故をおこさないために～遭難現場から見えるもの～」

元長野県警山岳遭難救助隊長 翠川幸二氏（2016.10.2）

レセプション 烏丸京都ホテル

50周年記念誌

第一部「京都府連盟50年の歩み」 50年の歩み、連盟・各員会等

第二部 連盟加盟のクラブ・山岳会紹介

第三部 「京都100山」連盟が選ぶ百山、京都府の山々の調査記録

滋賀県連主催ファーストエイド講習会に参加して

やましな山の会 青山郁夫

連盟交流会の申し込みを忘れていたので 11 月 10 日に滋賀県連主催で坂本元太講師を招いて皇子が丘公園で開催されたファーストエイド講習会に参加して来ました。受講者は 26 人で京都からは 5 人受講でした。とても有意義な講習会でした。

まずはこの講習会の滋賀県連の案内文を紹介します。

「近所の低山であっても、アルプスの高山であっても、山には打撲・骨折・熱中症・低体温症など様々なトラブルが付き物です。それらを未然に防ぐ知識と計画が大切なのは言うまでもありませんが、万一そうしたトラブルが発生した時、市街地と比べて地理的・地形的に不利な条件で利用可能な装備も限られる中、自分達自身の手でできる限りの対処をしなければなりません。しかし、いきなりそのような事態に直面すれば、適切な行動を取ることは困難です。

そこで、元消防局隊長で救命・救助のプロでもある坂本元太ガイドを招いて、山の環境を前提としたケガや病気の応急手当から救助要請までの一連の流れを本番に即した形で指導していただきます。山登りをする方にはどなたにとっても必須知識になりますので、ぜひご参加ください」——的を得たとても分かりやすい案内文です。

坂本元太講師略歴：横浜市消防局に 18 年勤務、八ヶ岳の麓で助産院兼宿泊施設を営しながら登山ガイド、山岳救助隊員や野外救急法指導員として活動中
デナリ・キリマンジャロ・モンブラン・マッターホルンなどに遠征隊長として登頂
元消防官、登山ガイド、諏訪地区遭対協救助隊員、応急手当指導員

やましな山の会 青山郁夫滋賀県連送付感想

ケガ人と遭遇した時の一時救命措置とファーストエイドは市街地だけでなく山の中だったらどうしたらベターなのか？それを学んで山の事故に対応したい、これが長年の願いだった。それが今回、皇子が丘で実現した。

これまでの講習会は主に市街地での対応方法でそれはそれで勉強になって良かったが、今回は坂本講師の指導の元、講義を 1/3、実技が 2/3 の割合で行い、市街地だったらどうすると共に、山の中だったらどうするの対応方法を初めて学ぶことができ、これまでに一番のとても有意義な講習会だった。

一例として、これまで傷口を洗う時に「お茶でも大丈夫？」と聞いても明確な可否の回答が得られなかった。今回は「水が一番良いが無ければお茶でもジュースでも経口補水液でも良い」とはっきり言われた。(JRC ガイドライン 2020 では「可能であれば、すみやかに水道水など清潔な流水で洗う」となっており「可能でない」山での対応をガイドラインに沿って述べられたと思う)

また、手首を折った時の副木はストックを半分にして衣類を巻いて使う、吊り下げは衣服のボタンを外してその中に入れる、ブラブラ防止はリュックを使うなど、これまでにない新しい方法を多く学ぶことができた。特に傾斜のある場所での事故対応は野外でしか出来ない貴重な体験だった。

今回の 1 回だけの講習会ではとても学んだことを実際の山の中での事故に活かしかねないが多少ともこれまでよりは出来るようになったと思う。

今後の山の会は基本である市街地での救急法に合わせて山の中での救急法も学ぶと共に新しい方法を学んで事故対応に備えることが必要であることを実感した。

滋賀県連の皆さんへ、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。さっそく、講習会の翌日に京都府連でも坂本講師を招いてファーストエイド講習会をしましょうと常任理事会に提案しました。京都でも実施されることを切に願っています。

やましな山の会 青山久子滋賀県連送付感想

今回、滋賀県連のファーストエイド講習会に参加させていただき、ありがとうございました。まずは今回の取組みを企画、主催されました滋賀県連の方々に敬意と感謝を申し上げます。とても有意義な講習会でした。

有意義だった理由は主に3つあります。

その1つは『救急の連鎖』の再確認です。これまで幾度も救急法の講習会で『救急の連鎖』を耳にしましたが、今回ほど新鮮にまた真摯に受け止めたことは初めてです。登山と言ういわばリスクを伴う行動では救急に対して知識・技術・体力が必要であることを改めて肝に銘じた次第です。

2つ目は単独登山のリスクです。今回学んだことの多くは周りに救助者がいてこそだと強く感じました。単独登山の楽しさを理解しつつも、やはり単独では助かる命も助からない場面が多いのも事実です。この点についての講師のお考えも伺いたく思いました。同時にリーダーのなすべきこと、パーティーのなすべきことを再確認することができました。第2の傷病者を出さないこと、冷静な判断が大切だということでした。

そして最も有意義だったこと、それは野外だったことです。事故は現場で起こります。私たちの現場は傾斜があつたりデコボコだつたり圏外だつたりします。持ち物にも限りがあります。救急車もヘリもすぐには来てくれません。その状況下で如何に傷病者の命をつなげていくかをリアルに体験できました。

滋賀県大津市皇子が丘の恵まれた場所で今回の講習を受けられたことを嬉しく思い、講習が役に立たないよう、事故を予防し、楽しく登山できる知識・技術・体力を今後も精進して行きたいと思えます。ありがとうございました。

26(日)06:07 自宅発~北陸道~関越道堀之内IC~那須のホテル「オオタカ」泊。

27(月)08:00 ホテル「オオタカ」発~那須岳登頂~日光へ移動~男体山登頂~日光大谷川YH泊。

28(火)07:00YH 発~霧降高原~赤薙山~女峰山登頂~檜枝岐民宿「こまどり」泊。

29(水)08:00 檜枝岐民宿「こまどり」~帝釈山・田代山・会津駒ヶ岳・中門岳登頂~泊

30(木)05:30 駒ノ小屋~御池駐車場~燧ヶ岳登頂~伝之助小屋泊。

31(金)

06:30 朝には雨が止み、伝之助小屋に車を残して~荒沢岳登山口へ移動。

「今日は平日で登山客が少ないので平ヶ岳短縮登山口への送迎サービスはないが、明日は送迎する」という事なので予定を変更して先に荒沢岳に登る。

06:40 すぐ近くが荒沢岳登山口。登山道に入ると沢を渡る。この沢が唯一の取水場で途中には水場が無いという事なので500mlを汲んだら流石に重い。滑りやすい急登の樹林帯を登る。



07:30 前山(1090m)着。いつかは果たしたい縦走路の1つ八海山~中ノ岳~越後駒ヶ岳への越後三山が木の間越しに見える。前山から下ると前山の岩峰がまるで荒沢岳の衛兵の様に突き立っている。樹林の中に交互に現れる滑り易い長い鎖と鉄パイプの梯子も雨が上がったので何とか登れた。岩場にキンコウカやサクラソウ・クルマユリ・ホトトギス等が咲いている。



09:30 前峯(1536m)。前峯への急登の岩壁に連続する長い鎖場も安心して登る事が出来た。なだらかなピラミッド状の荒沢岳が目前に迫る。

11:00 荒沢岳山頂。南に平ヶ岳・燧ヶ岳が対照的な山容で横たわり、平ヶ岳~巻機山への連なりや、越後三山の連なりが累々と幾重にも重なり山の深さを感じさせる。

11:10 下山開始。来た道に戻る。登り以上に慎重に緊張し乍ら下る。

14:10 無事下山。緊張の連続で結構疲れた。伝之助小屋に戻り風呂で疲れを解す。明日は平ヶ岳登頂。送迎バスは早朝4時発なので疲れに任せて早々に寝る。



12月号案内

表紙の絵

長谷川ひろ子さん(やましな山の会)

開田高原

木曾駒(馬)の辺りから御岳を望む

標高3067mの御嶽山は見る方角によってその姿を変えます。

富士山のように円錐形に見えることもあれば開田高原からのそれはいくつもの峰が連なって堂々としたヨーロッパ風の山容を見せています。

(2018年5月)



2014年9月に大噴火を起した御嶽山ですが、今は元の姿のまま静かにたたずんでいて、登山も再開されています。

御嶽山周辺には登山口のある濁河などいくつもの温泉があり、また冬には崖一面に電信柱のような太い氷柱が数十メートルも連なる名所もあります。

そんな自然がいっぱいまった様子がスケッチから見て取れます。



*「京都労山」は会員みんなの手で作られています。みなさんの手元に未発表の絵やスケッチ、写真などありませんか？

ころあたりのある方は是非、編集部までご一報ください。

<お知らせ>

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。連載企画の内容でもOKです。労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白上下、左、右とも各20mm

2024年 京都府連盟 月間予定表

| 12月 (師走・DEC) | | |
|--------------|---|----------------------------|
| 1 | 日 | 初級登山学校 「ビーコン学習」 |
| 2 | 月 | 自然保護委員会 |
| 3 | 火 | 事務局長会議 |
| 4 | 水 | |
| 5 | 木 | |
| 6 | 金 | |
| 7 | 土 | |
| 8 | 日 | 初級登山学校 「アゼン・ピッカワーク」 |
| 9 | 月 | 常任理事会 |
| 10 | 火 | |
| 11 | 水 | |
| 12 | 木 | |
| 13 | 金 | |
| 14 | 土 | |
| 15 | 日 | 初級登山学校 「読図山行」 |
| 16 | 月 | 京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会 |
| 17 | 火 | |
| 18 | 水 | |
| 19 | 木 | |
| 20 | 金 | |
| 21 | 土 | 連盟事務所大掃除 13:00～ |
| 22 | 日 | |
| 23 | 月 | 常任理事会 |
| 24 | 火 | |
| 25 | 水 | 女性委員会 |
| 26 | 木 | |
| 27 | 金 | |
| 28 | 土 | |
| 29 | 日 | |
| 30 | 月 | |
| 31 | 火 | |

| 1月 (霜月・NOV) | | |
|-------------|---|----------------------------|
| 1 | 水 | 元日 |
| 2 | 木 | |
| 3 | 金 | |
| 4 | 土 | |
| 5 | 日 | |
| 6 | 月 | 自然保護委員会 |
| 7 | 火 | 事務局長会議 |
| 8 | 水 | |
| 9 | 木 | |
| 10 | 金 | |
| 11 | 土 | 初級実技5 雪山 八ヶ岳 |
| 12 | 日 | 初級実技5 雪山 八ヶ岳 |
| 13 | 月 | 成人の日 初級実技5 雪山 八ヶ岳 |
| 14 | 火 | 常任理事会 |
| 15 | 水 | |
| 16 | 木 | |
| 17 | 金 | やまびこ利用日 |
| 18 | 土 | 近プロ雪崩講習会 岐阜・大日岳 |
| 19 | 日 | 近プロ雪崩講習会 岐阜・大日岳 |
| 20 | 月 | 京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会 |
| 21 | 火 | |
| 22 | 水 | 女性委員会 |
| 23 | 木 | |
| 24 | 金 | |
| 25 | 土 | |
| 26 | 日 | 積雪期搬出訓練 初級実技7 |
| 27 | 月 | 常任理事会 |
| 28 | 火 | 気象勉強会 |
| 29 | 水 | |
| 30 | 木 | |
| 31 | 金 | |